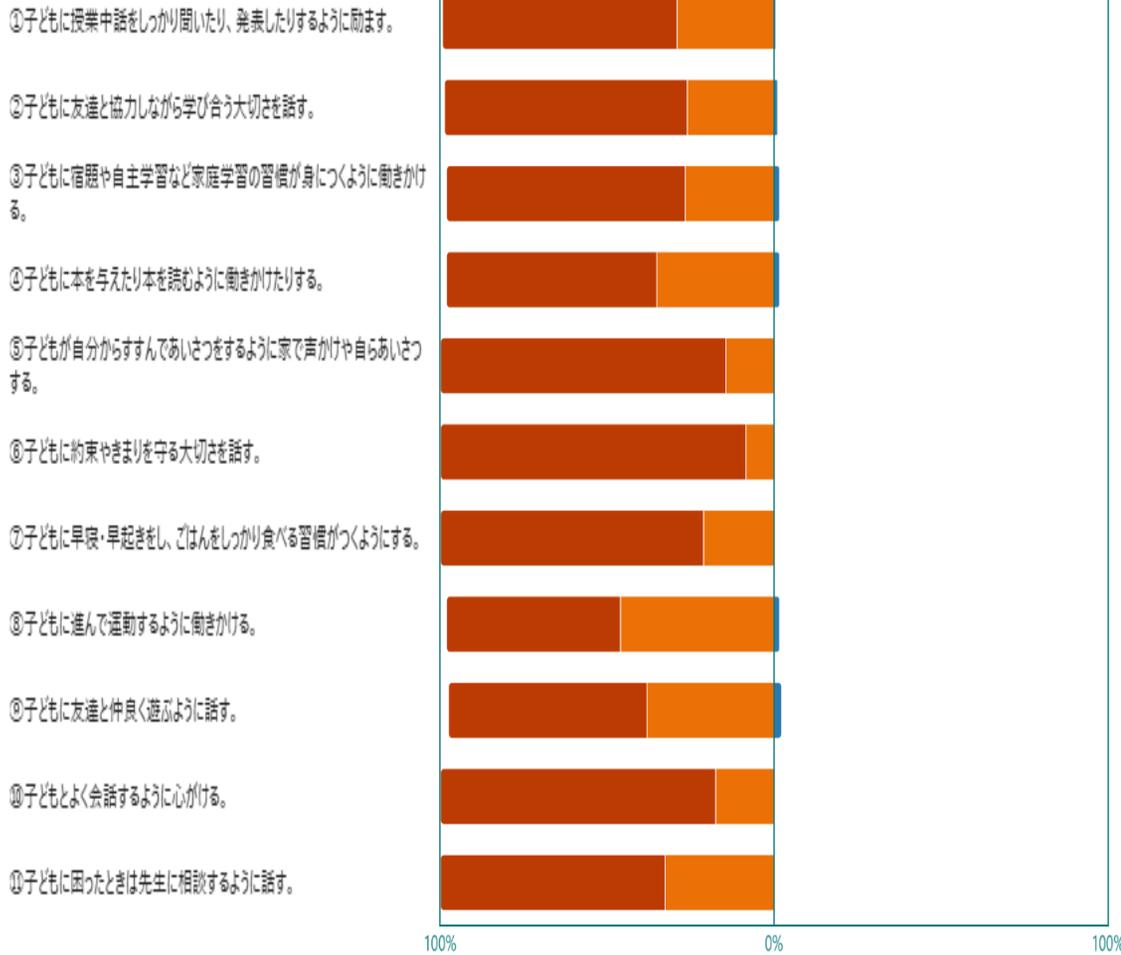




保護者の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校教育活動にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。先日はアンケートのご協力ありがとうございました。後期の学校評価アンケート結果をまとめましたので、お知らせします。

保護者 重要度

●重要である ●やや重要である ●あまり重要ではない ●重要ではない



※学校教育アンケート（保護者・教職員・児童）の結果は、真ん中の0%を境に、グラフ左側が「やや重要である」「重要である」、右側が「あまり重要でない」「重要でない」を示しています。

文中の重要度は、「重要である」「やや重要である」を合わせた数値、実現度は、「よくできている」「大体できている」を合わせた数値を、全体に占める割合で表しています。

重要度の集計結果から

【保護者・教職員のみ】

保護者の方は、全項目で97%~100%の重要度でした。

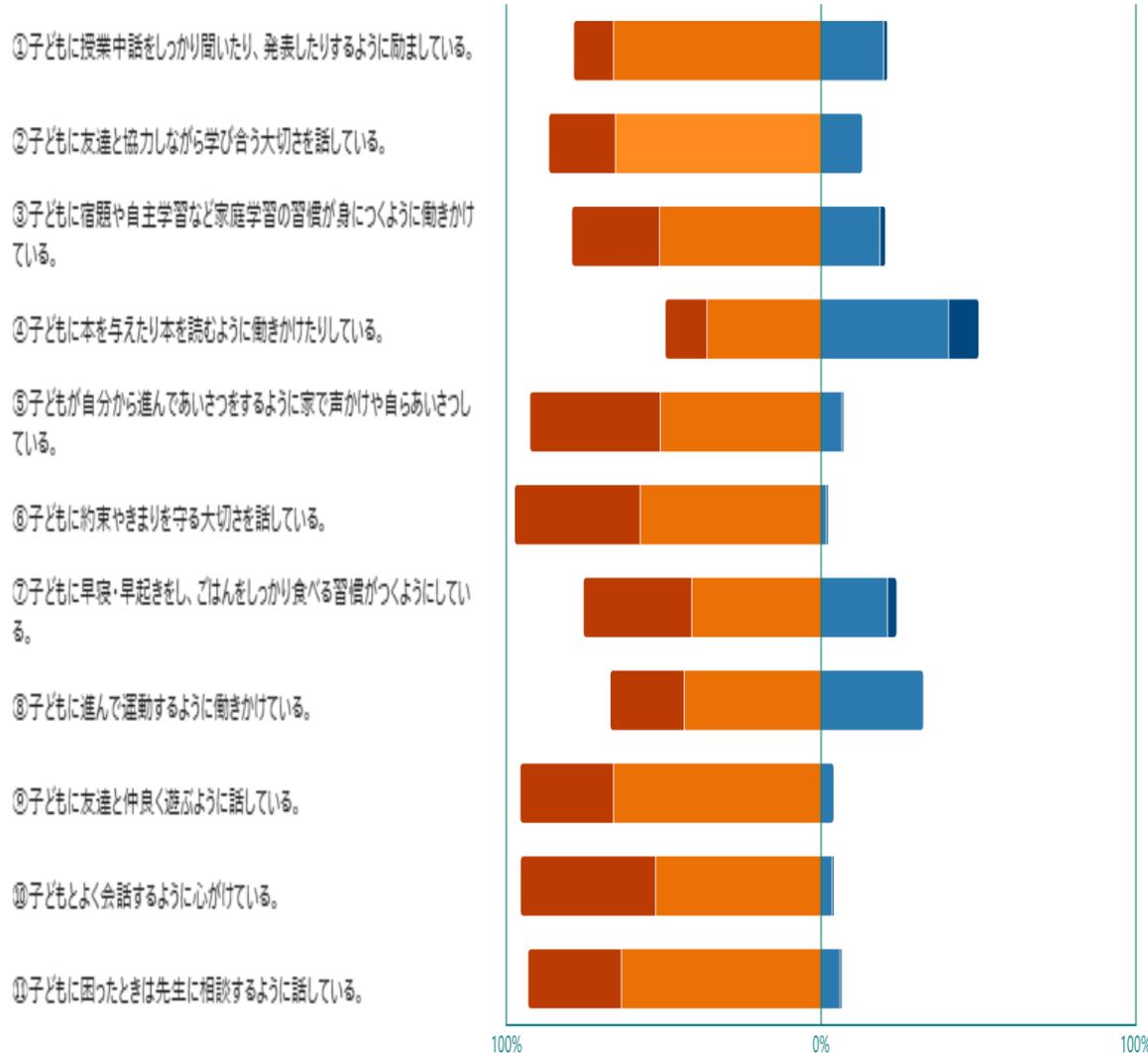
⑤あいさつ、⑥約束やきまり、⑦早寝・早起き・朝ごはん、⑪困ったときは先生に相談の質問項目はどれ100%の重要度でした。

教職員は、全項目とも100%でした。

保護者の皆様には、本校の学校教育目標や方針をご理解いただき、大変ありがたく思います。これからも、教職員と保護者の方が同じ方向を向いて子どもたちの成長を見守っていきましょう。

保護者 実現度

●よく出来ている ●大体出来ている ●あまり出来ていない ●出来ていない



実現度の集計結果から

【保護者】

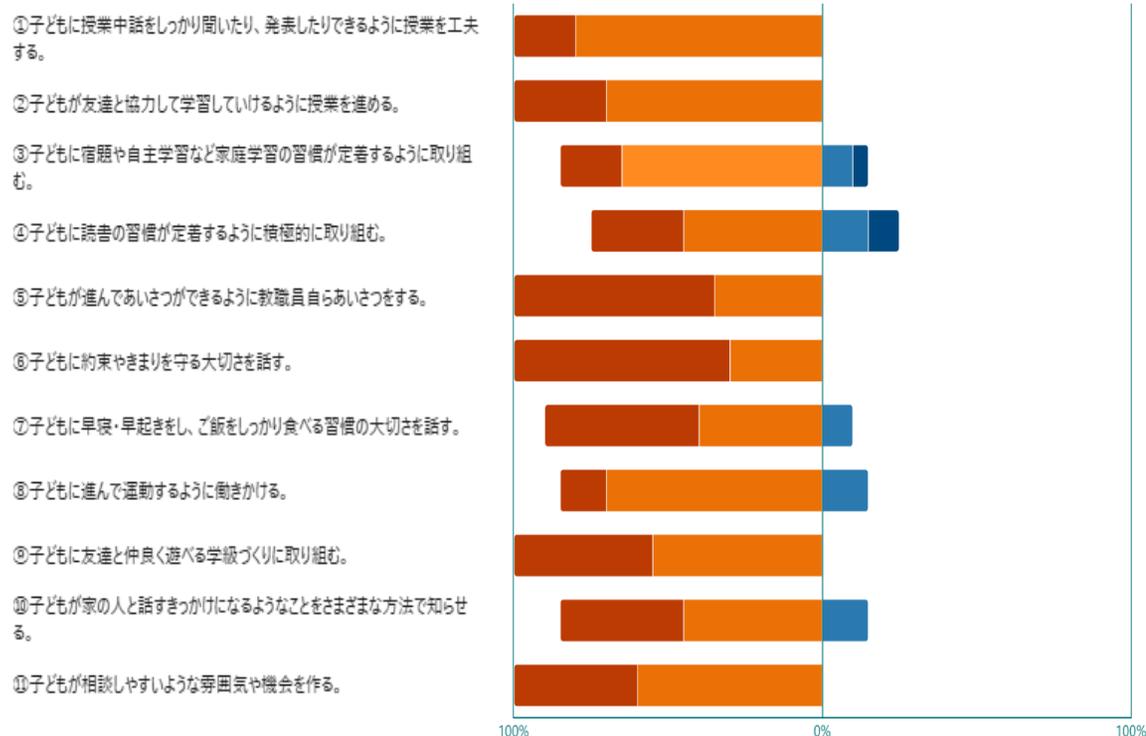
重要度は11項目とも高水準なのに対し、実現度は児童や教職員の実現度と比べ低い傾向にあります。子どもたちの学校での姿が見えない分、実現度が体感しにくいのではないかと思います。

前期に比べて実現度が上がったのが「①授業で聞く・発表するように励ます（71%→79%）」「②友達と協力して学び合う大切さを話す（84%→87%）」の項目でした。特に①については8%もアップしています。積極的な学習姿勢が子ども達の「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」につながります。引き続き励ましの声かけをよろしくお願いいたします。

一方、前期に比べて実現度が下がったのが「④読書の働きかけ（57%→50%）」「⑦早寝・早起き・朝食など生活習慣（84%→76%）」「⑧運動習慣の働きかけ（74%→67%）」でした。前期に比べ、寒い季節にアンケートを実施したこともあり、朝が起きにくかったり外に出にくかったりするのかわかれます。季節に応じた取り組みの工夫を考えていきたいです。

教職員 実現度

● よく出来ている ● 大体出来ている ● あまり出来ていない ● 出来ていない



【教職員】

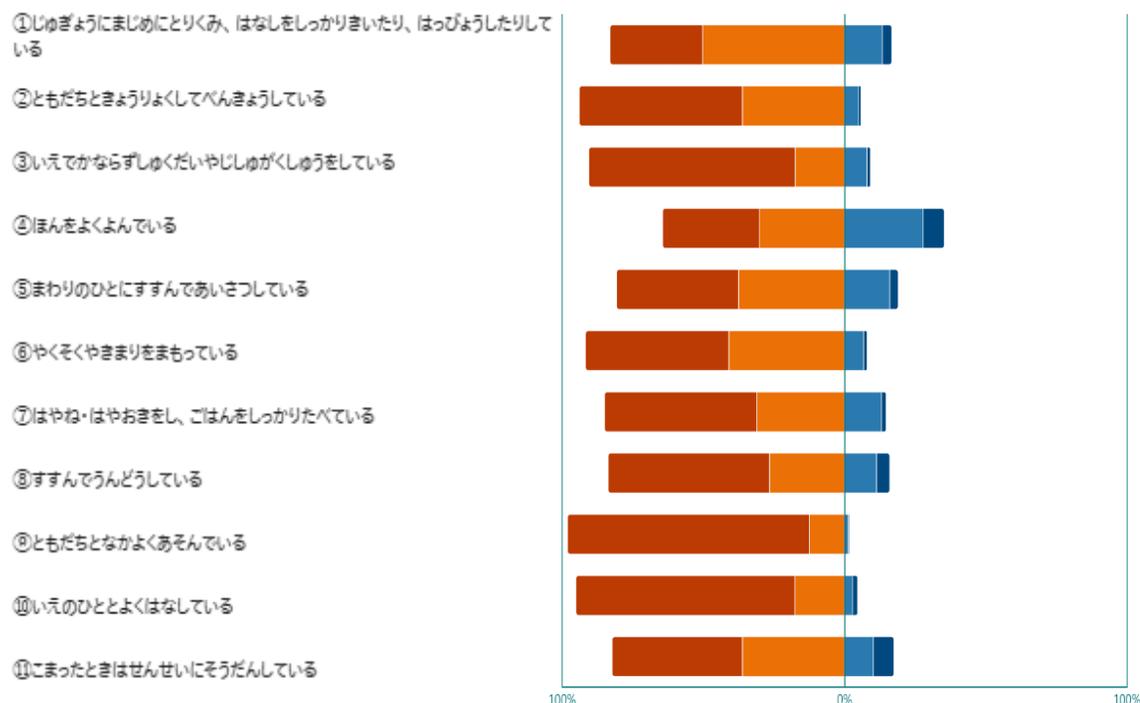
実現度が上がった項目と下がった項目はそれぞれ全体の半数ずつで項目数は同じでした。

実現度が特に上がったのは「②友達と協力して学習（91%→100%）」の項目で、ペア学習やグループ学習など協同的な授業を意識的に取り入れている効果が少しずつ表れているのかと思います。今後も、子どもたちが共に学び合い、学力向上していけるよう、取組を進めていきます。

一方、大きく低下したのは「③家庭学習（91%→85%）」の項目で、前期は新しい学年・クラスで張り切ってスタートを切れたが、日々取り組んでいく中で、飽きや甘えの姿勢が出てしまったのではないかと考えます。やる気が持続するような工夫をしていきたいです。

児童 実現度

● よく出来ている ● 大体出来ている ● あまり出来ていない ● 出来ていない



【児童】

教職員と同様に実現度が上がった項目と下がった項目はそれぞれ全体の半数ずつで項目数は同じでした。

伸びが見られたのは「②友だちと協力して学習（88%→94%）」「⑨仲よく遊ぶ（94%→98%）」「⑥きまりを守る（89%→92%）」などの対人・規範領域です。みんな遊びやグループ学習、係活動や当番などみんなで力を合わせて楽しんだり学習したりという学校生活でこそ得られる経験につながる項目が上昇傾向にありうれしく思います。

一方で、「④読書（71%→65%）」「①授業への向き合い（85%→83%）」は低下が目立ちます。後期は行事等の多さからの多忙要因や環境・関係性への馴れによるゆるみなどが低下につながっているのではないかと考えます。意欲的に取り組める工夫とともに子どもたちが定期的に振り替える機会を設定していきたいです。

自由記述欄から

「あいさつに力を入れてもらいたいです」「運動をさせたいが、家では難しい」「みんなの前で発表するのが苦手な子のため、日直の日の朝は泣いています。」「見えない部分で子どもが嫌な思いをしていないかを気にかけてほしい」「困った事があれば先生でなくとも良いから誰か大人に相談するよう声掛けています。」「ワクワクプランの展示がなくなったのは、残念。まとめることは任意でも、クラスだけでなく他学年の作品は、親子共に刺激となるので、以前のように展示の場があればいいなと思いました。」「度々お休みの日に、タグラグビーの試合に引率いただき本当にありがとうございました。親子共に、とてもよい経験となりました。」など、ご意見をいただきました。アンケートをきっかけにあいさつや運動などにしっかりと取り組んでいけるように、教職員も子ども達も改めて自分のことを振り返り、今後の学校生活をより良いものにしていきたく思います。また、子どもたちが楽しく安心して登校できるように、子どもたちの気持ちや様子をしっかりと見取りながら活動内容・学習内容を柔軟に検討していきたく思います。これからも保護者の皆様、地域の皆様と一緒に子どもが自分を大切に、人とのつながりを大切にしながら育つよう見守っていきたく思います。いただいた全てのご意見は全教職員で共有し、来年度の教育活動の取組内容に活かしていきます。ありがとうございました。

学校運営協議会より

アンケートからは、竹田小学校がめざす「つながりの中で主体的に学ぶ子」の育成に向け、児童・保護者・教職員が同じ方向を向いて取り組んでいる様子がかがええました。一方で、継続的に取り組む必要がある領域も明らかになりました。季節的要因に加えて、家庭学習や生活習慣は、家庭環境・生活リズムなどの影響を受けやすく、学校だけで完結できない難しさのある分野です。引き続きPTA、地域、保護者も学校と同じ方向を向いて取り組んでまいりたいです。

学校教育アンケート全体を通して

今年度も、一人一人を大切に、子どもたちが楽しく学校生活を送れるよう学校教育を進めてまいりました。成果として、子どもたちがお互いに楽しく過ごすために仲良く遊んだりルールを守って行動したりの実現度が高かったことは、大変良かったです。また、家で保護者の方とよく話ができていくという実現度が高かったのは、保護者の方のご協力のおかげです。

課題として昨年度に引き続き、読書・運動は、重要視に対して実現が伸びづらい傾向が共通しました。朝の読書の仕組み化、小さな運動機会の設定など、小さく始めて効果を測る取組を全校で回していきます。

今後も学校教育目標「夢に向かって輝く、竹田っ子～夢に向かい、つながりの中で主体的に生きていこうとする子をめざして～」に向かって、教職員、保護者の皆様、地域の皆様が協力し合い、子どもたちの心身ともに健やかな成長を目指していきたく思います。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。